

特記事項

(工事概要)

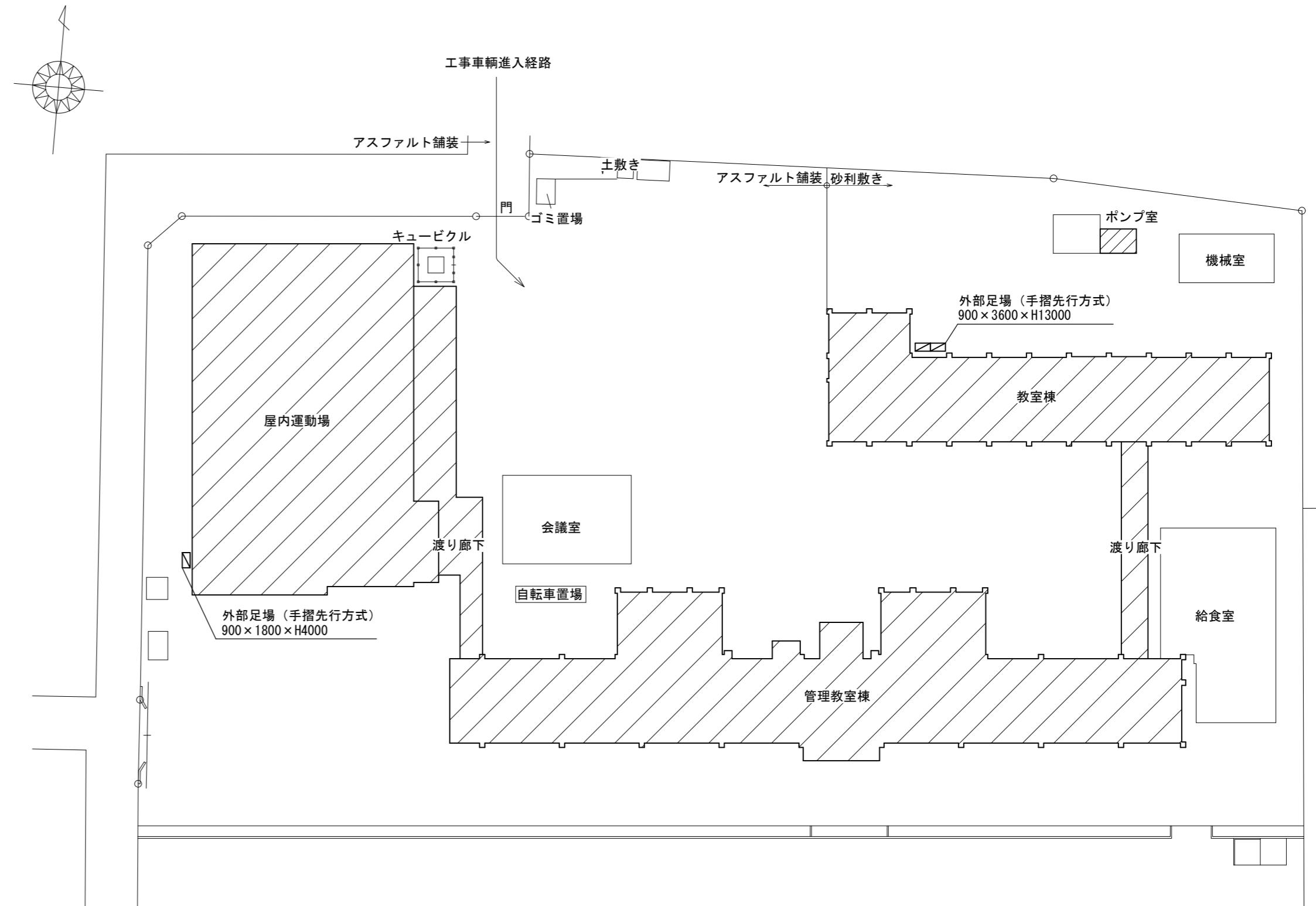
- 屋内消火栓設備の消火ポンプユニットの更新及び機器取替に伴う配管更新を行う。
- 屋内消火栓ホースの取替を行う。

(施工条件)

- 契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- 作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- 作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- 工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、作業日については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- 大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- 作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告すること。
- 設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当面図を優先する。
- 工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- 工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づいて、受注者は受注時において工事着手前に「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。
- また、工事完了後にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行い、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出すること。
- 本工事の現場施工にあたっては学校運営に支障のないように、土日祝日及び夏期休暇に施工を行うようにすること。ただし、平日であっても授業等に影響のない範囲に限り施工を行うことを認める。
- 夏季休暇終了後は、学校運営にあたり、屋内消火栓設備を使用できるようにすること。

(解体撤去処分)

- 本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- 工事完了後、速やかに施工報告書(マニフェスト等の写しA・B2・D)を市監督員に提示すること。



配置図 S=1/500

: 改修建物を示す

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」

「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」

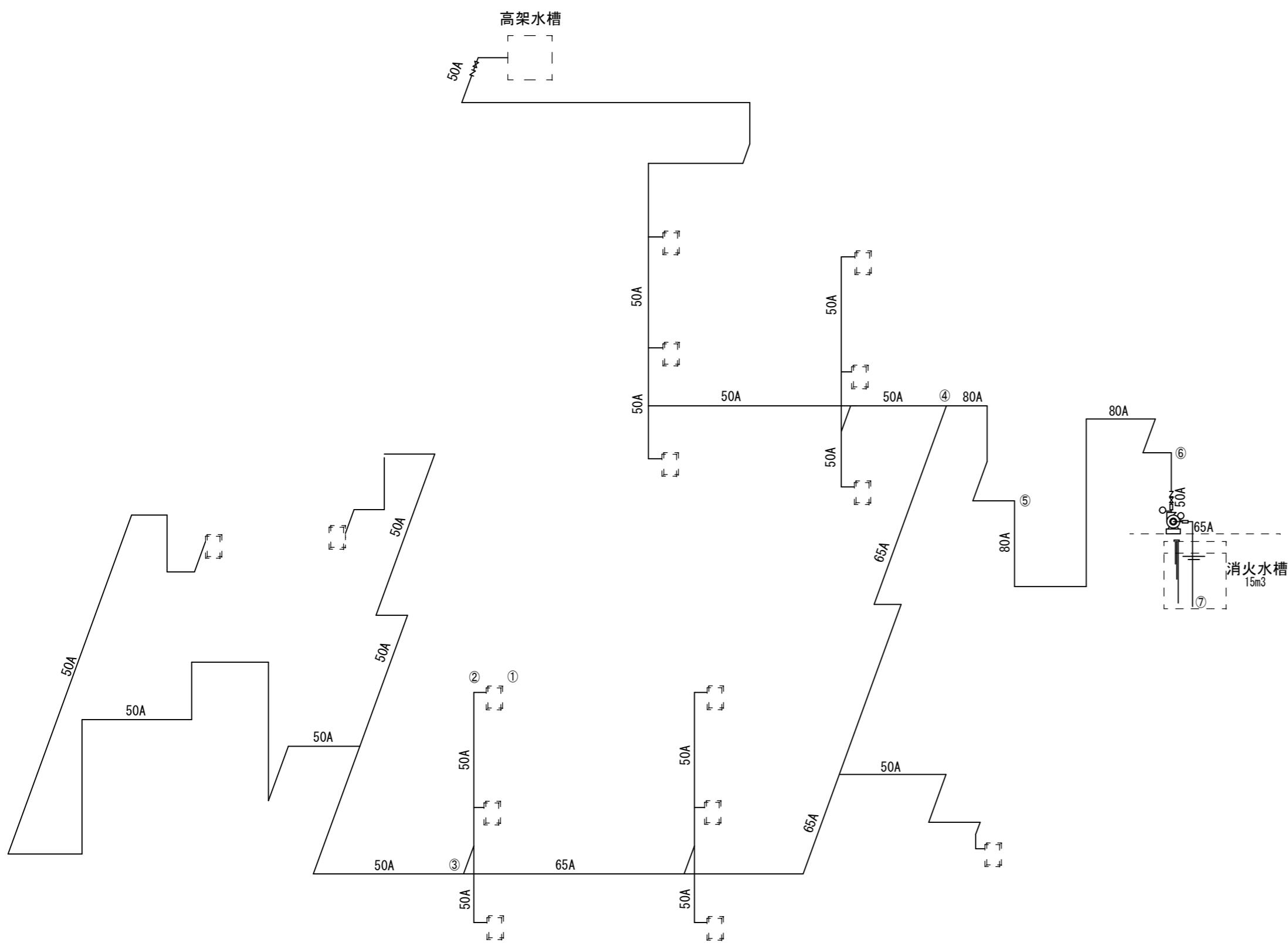
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」

「建築、電気、機械設備工事監理指針令と元年版」

独立行政法人 建築研究所監修

「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市立立成小学校消火設備改修工事		縮尺 1/500
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図:A 2
		No. 1/10



消火栓計算書 1号屋内消火栓 (配管材料→配管用炭素鋼鋼管 [SGP-白 JIS G3452])

区間	器具単位数	流量	管径	局部抵抗の相当長 L (m) 又は K		数量	計又はK	実長 L m	換算長 L' m	単位抵抗 R m/h ^{2.0} /m	区間距離 R (L+L')		
				局部抵抗の種類	1個当りの相当長								
①~②	1	150	40	直管			0.2	0.2					
				90° エルボ	1.3	1	1.3	1.3					
				放水弁	7.0	1	7.0	7.0	8.5	0.124	1.054		
②~③	2	300	50	直管			6.5	6.5					
				チーズ	3.2	3	9.6	9.6	16.1	0.138	2.2218		
③~④	2	300	65	直管			93.1	93.1					
				チーズ	4.1	3	12.3	12.3					
				90° エルボ	2.0	3	6.0	6.0	111.4	0.041	4.5674		
④~⑤	2	300	80	直管			7.7	7.7					
				チーズ	4.9	1	4.9	4.9					
				90° エルボ	2.4	3	7.2	7.2	19.8	0.018	0.3564		
⑤~⑥	2	300	80	直管			23.2	23.2					
				90° エルボ	2.4	6	14.4	14.4	37.6	0.018	0.6768		
⑥~⑦	2	300	80	直管			2.9	2.9					
				90° エルボ	2.4	1	2.4	2.4	5.3	0.018	0.0954		
				50 逆止弁	4.4	1	4.4	4.4					
				50 仕切弁	0.3	2	0.6	0.6	5.0	0.138	0.6900		
				65 フート弁	11.3	1	11.3	11.3	11.3	0.041	0.4633		
										合計	10.1251	≤ 10.2	
計算式				計算				備考					
ポンプの定格	屋内消火栓 Q=150×N				Q=150×2=300				N=2				
吐出量	N: 同時開放数												
ポンプの定格	$H = h_1 + h_2 + h_3 + h_4$				mH ₂ O				h ₁ =10.2				
全揚程	h_1 : 配管摩擦損失水頭 N : $h_1=\sum h_{1n}$ $n=1$				mH ₂ O				h ₂ =13.0				
	h_1n : 呼び径 d _n の配管の摩擦損失水頭				mH ₂ O				h ₃ =17.0				
	N : 配管の摩擦損失計算に必要な h _{1n} の数				$h_1n = \frac{\alpha n \cdot (l_n + l'_n)}{100}$				h ₄ =3.6				
	l_n : 呼び径 d _n の配管の直管部の長さの合計				m								
	l'_n : 呼び径 d _n の配管の継手、バルブ類の直管相当長の合計				m								
	αn : (昭和 51 年 4 月 5 日、消防庁告示第 3 号) による												
	h ₂ : 実揚程 (吸込実揚程 + 吐出実揚程)				m								
	h ₃ : ノズルの放水能力水頭				1.7 mH ₂ O								
	h ₄ : 消防ホースの摩擦損失水頭				屋内消火栓 1.7 mH ₂ O								
	屋内消火栓 露天消火栓 3.6 mH ₂ O				屋内消火栓 3.6 mH ₂ O								
電動機の出力	$kW = -0.163 \times Q \times H \times K'$				$kW = 0.163 \times 0.3 \times 44.0 \times 1.1$								
	kW : 必要な電動機容量 Q : 吐出量 H : 実揚程				$= 5.379 \leq 5.5$								
ポンプ仕様	口径・吐出量・揚程・電動機出力・電極・台数				mm L/min mH ₂ O kW								
	50 300 53.0 5.5 2 1												
消防用水槽	屋内消火栓 Q01=2.6×N				Q01=2.6×2				PF-1				
	Q01: 水源の有効容量				= 5.2 (m ³) 以上								
N 同時開口数													
消防補給水槽	Qfh=200L				200L 以上 (1.0×0.5×1.0H)				SUS製消防補給水槽				

津市立立成小学校消火設備改修工事

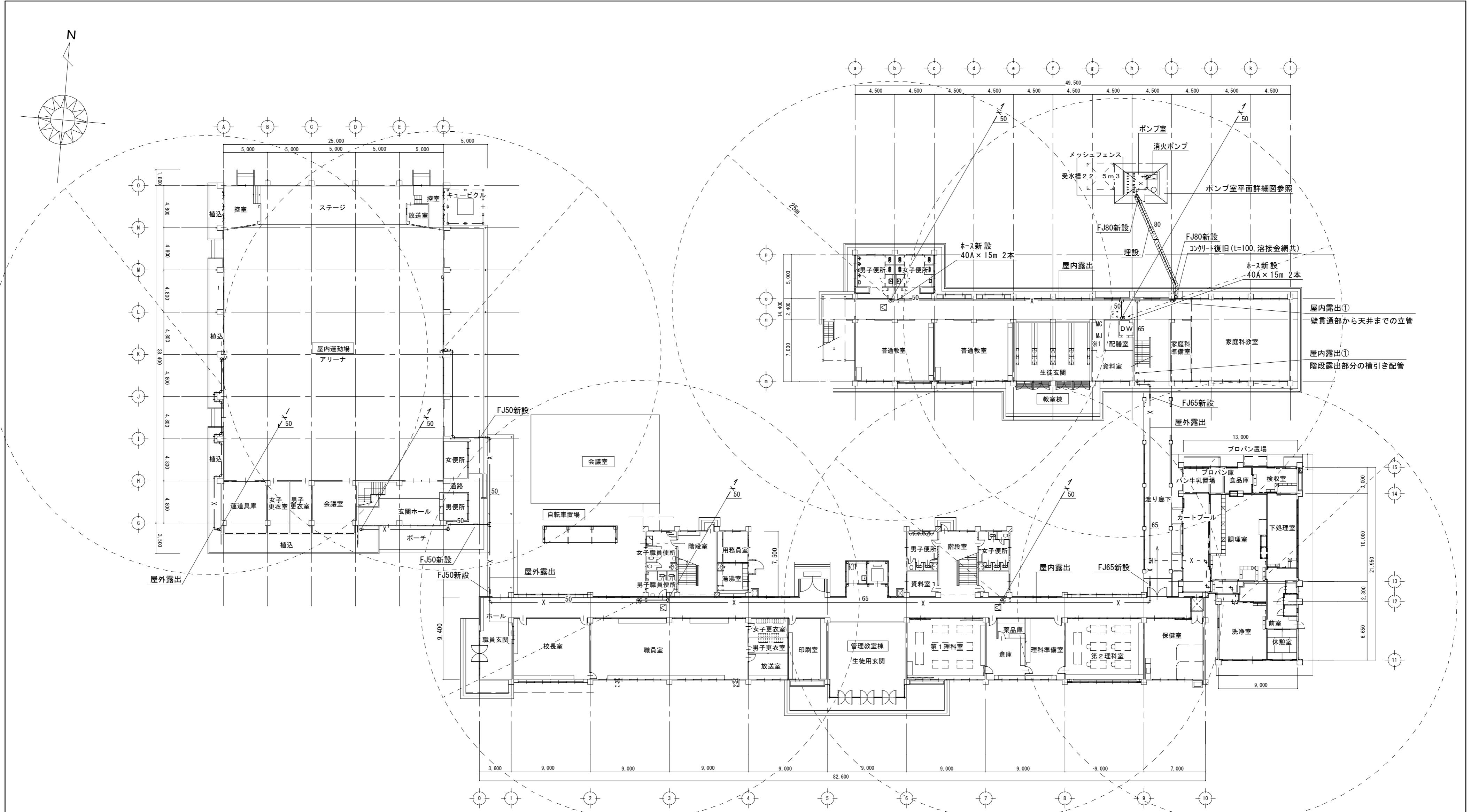
縮尺

図面名称 統一図面・消火設備計算書

原図:A2

津市建設部営繕課

No. 2/10



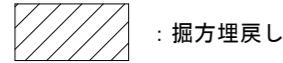
凡例

記号	名称	保温仕様
— X —	消防管	SGP(白)
-----		屋外露出: PS保溫筒+SUS鋼板
-----		屋内露出①: GW保溫筒+合成樹脂かん
-----		屋内露出②: 管塗装
-----	外面ビニル被覆鋼管(サクション管, 地中埋設)	

* 屋内露出①は、消火栓BOXまわりの立管部分および、図示の力所を対象とし、それ以外を屋内露出②とする。

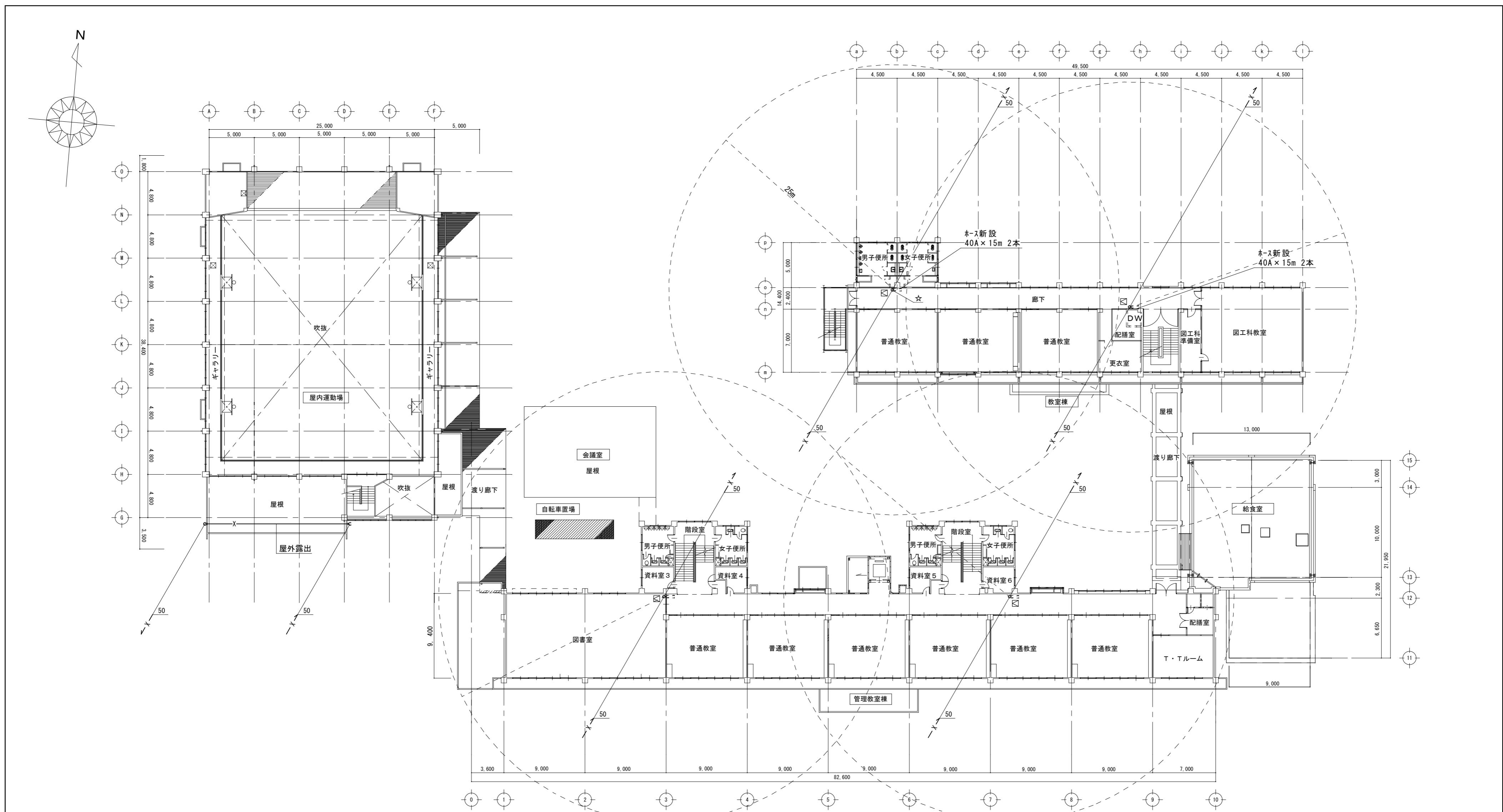
* 原則、既設の貫通穴を利用すること

* 配管架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする



(新設)配管図示記号	
———	新設配管
— — —	現状維持配管
— — —	現状配管・新設配管接続部分
□	天井点検口 45角

津市立立成小学校消火設備改修工事		縮尺 1/300
図面名称	消火設備 1階平面図(改修後)	
津市建設部営繕課		
No. 3/10		



凡例

記号	名称	保温仕様
— X —	消防管	SGP(白)
-----		屋外露出: PS保溫筒+SUS鋼板 屋内露出①: GW保溫筒+合成樹脂カバー 屋内露出②: 管塗装
-----		外面ビニル被覆鋼管(サクション管, 地中埋設)

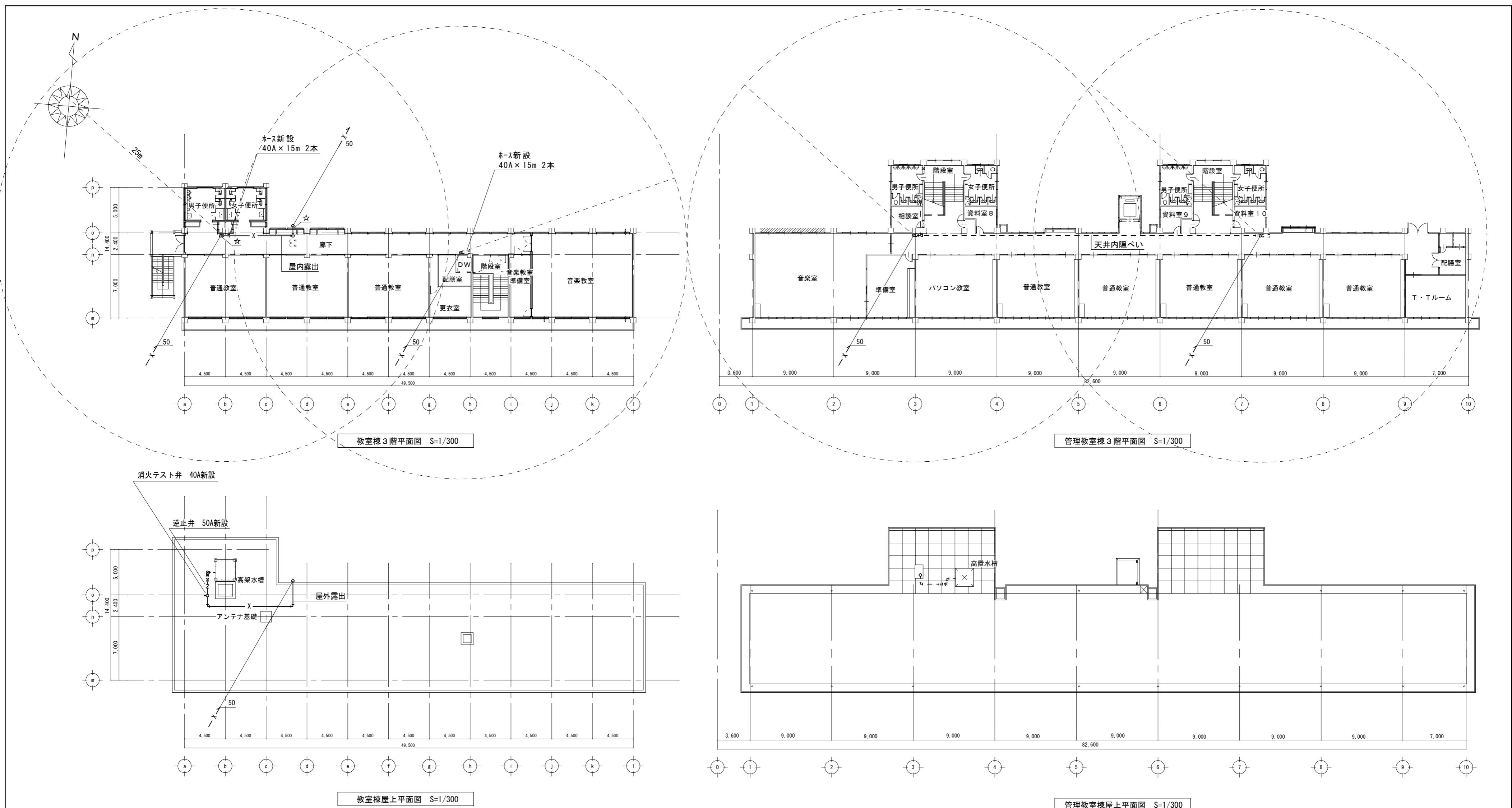
* 屋内露出①は、消火栓BOXまわりの立管部分および、図示の方所を対象とし、それ以外を屋内露出②とする。

* 原則、既設の貫通穴を利用すること

* 配管架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする

(新設)配管図示記号	
———	新設配管
-----	現状維持配管
— —	現状配管・新設配管接続部分
☆	コア抜き箇所
□	天井点検口 450角

津市立立成小学校消火設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	原図:A 2	
消火設備 2階平面図(改修後)		
津市建設部營繕課		No. 4/10



凡例

記号	名称	SGP(白)	保温仕様
— X —	消防管		屋外露出 : PS保溫筒+SUS鋼板 屋内露出① : GW保溫筒+合成樹脂カバ 屋内露出② : 管塗装
— - - - -	外側ビニル被覆鋼管(サクション管、地中埋設)		

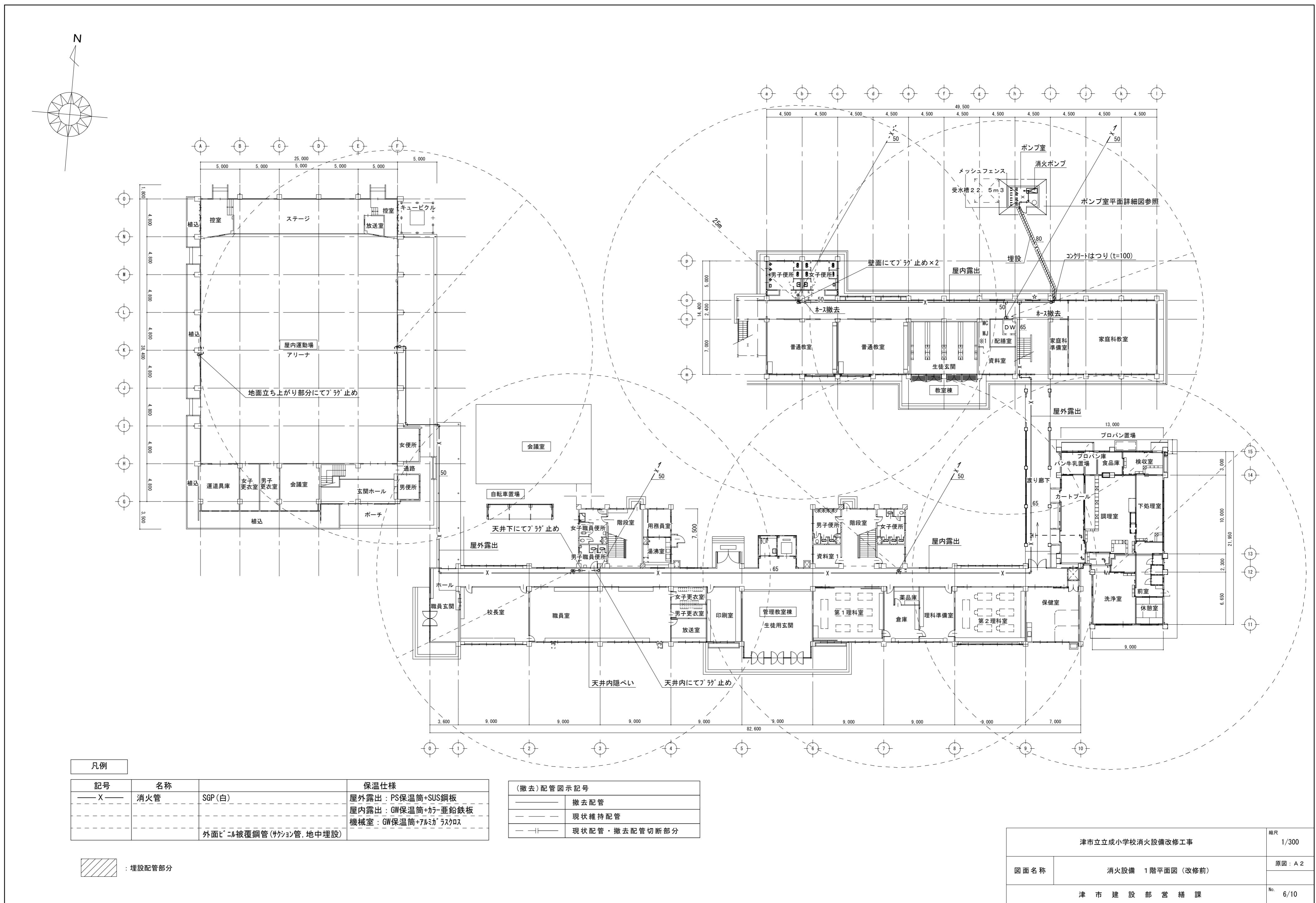
※ 屋内露出①は、消火栓BOXまわりの立管部分および、図示の力所を対象とし、それ以外を屋内露出②とする。

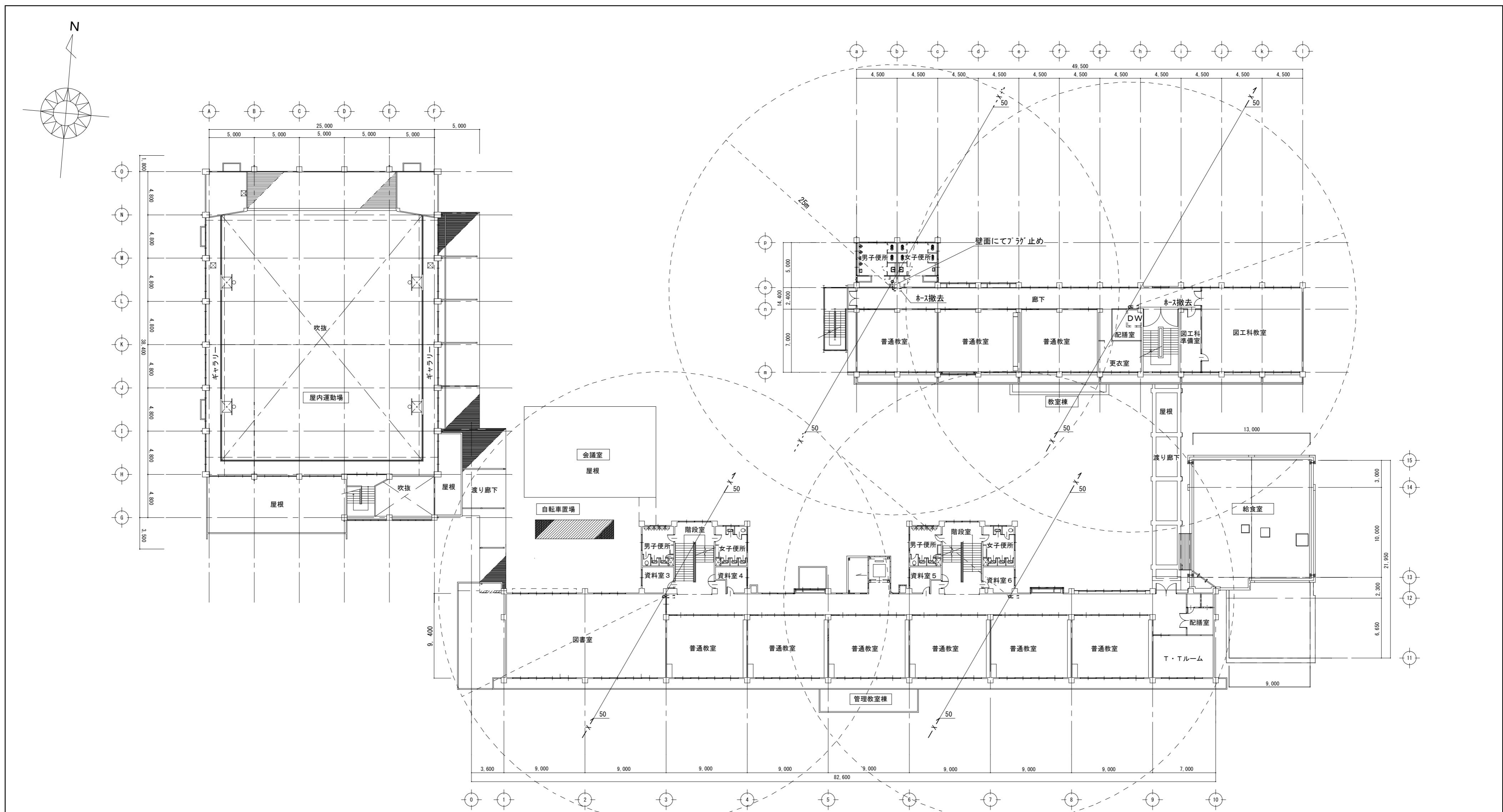
※ 原則、既設の貫通穴を利用すること

※ 配管架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする

(新設)配管図示記号	
—	新設配管
— — —	現状維持配管
— —	現状配管・新設配管接続部分
☆	コア抜き箇所
□	天井点検口 450角

津市立立成小学校消火設備改修工事	
縮尺 1/300	原図 : A 2
図面名称 消火設備 3階、屋上平面図 (改修後)	
津市建設部営繕課	
No. 5/10	





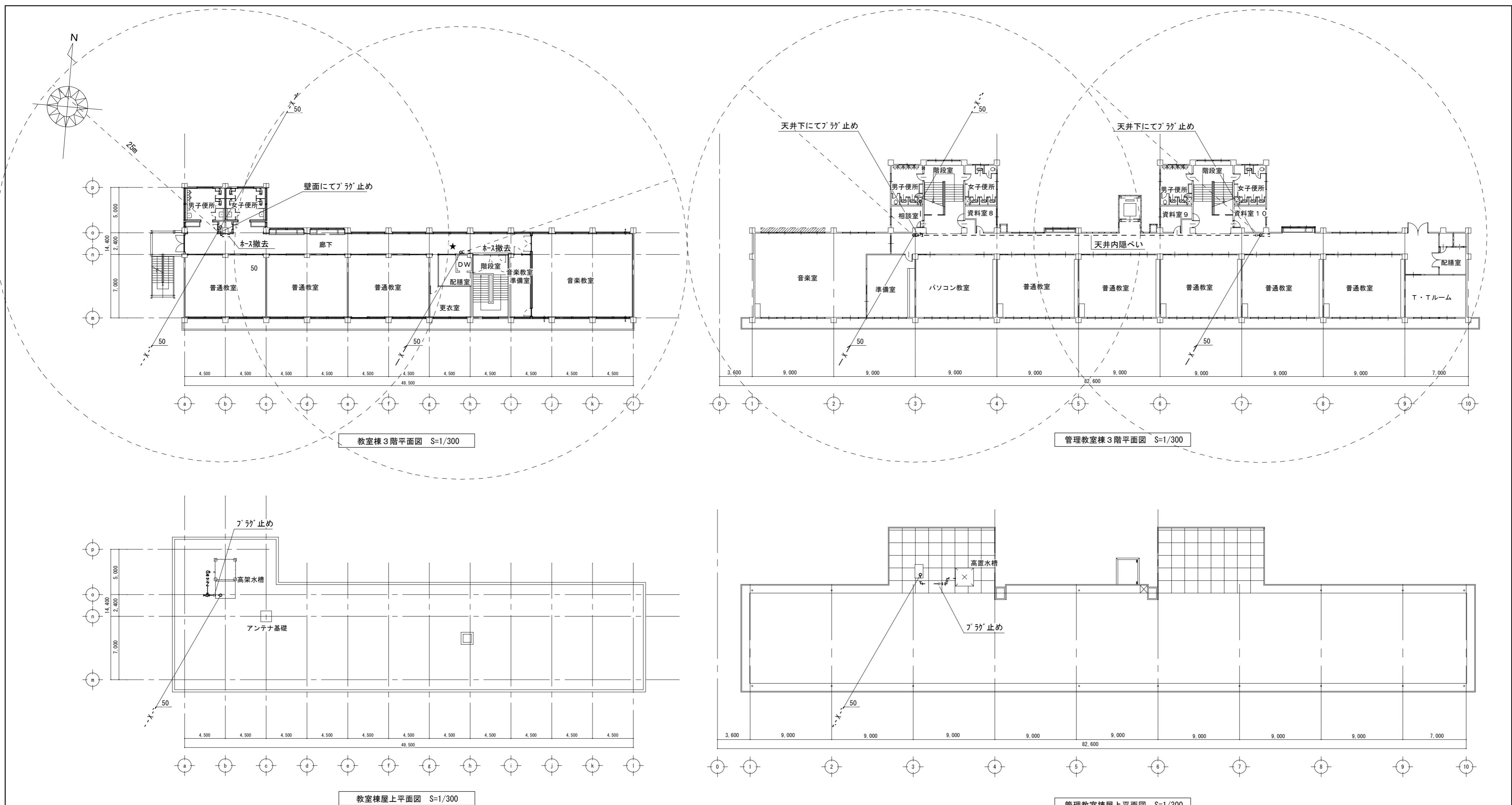
凡例

記号	名称	SGP(白)	保温仕様
— X —	消防管	SGP(白)	屋外露出: PS保温筒+SUS鋼板 屋内露出: GW保温筒+カラーベンチ板 機械室: GW保温筒+アルミガラスクロス

外面ビニル被覆鋼管(サクション管, 地中埋設)

(撤去)配管図示記号	
— — —	撤去配管
— — —	現状維持配管
— — —	現状配管・撤去配管切断部分

津市立立成小学校消火設備改修工事		縮尺 1/300
図面名称	消火設備 2階平面図(改修前)	
津市建設部営繕課		
		No. 7/10

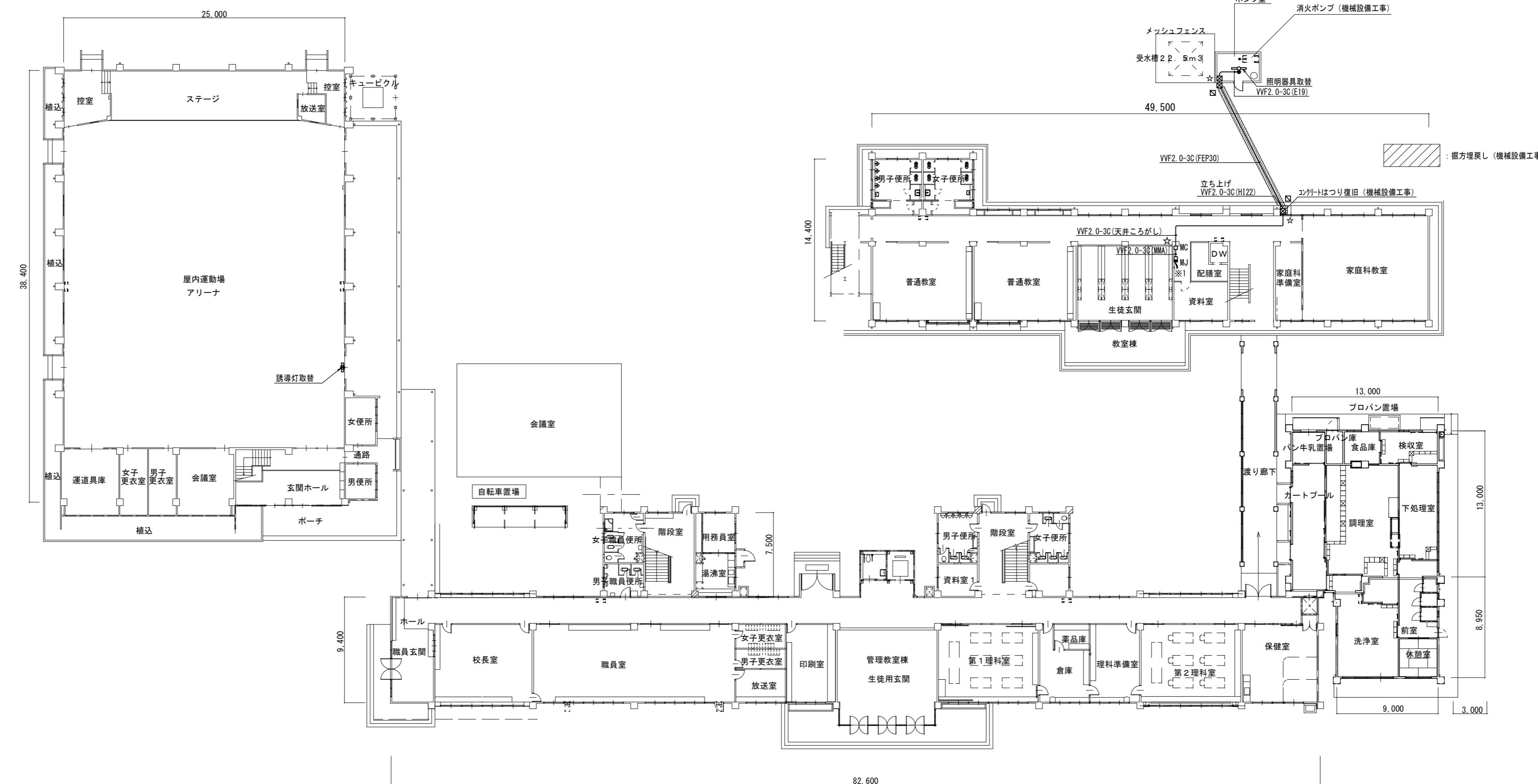
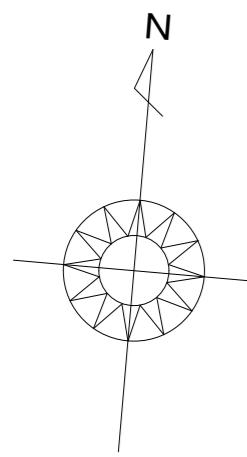


凡例

記号	名称	保温仕様
— X —	消防管	SGP(白)
— - - - -	外面ビニル被覆鋼管(アクション管, 地中埋設)	屋外露出: PS保温筒+SUS鋼板 屋内露出: 管塗装 機械室: GW保温筒+アルミガラスクロス

(撤去)配管図示記号	
— - - - -	撤去配管
— - - - -	現状維持配管
— - - - -	現状配管・撤去配管切断部分

津市立立成小学校消火設備改修工事		縮尺 1/300
図面名称	消火設備 3階、屋上平面図 (改修前)	
津市建設部営繕課		No. 8/10

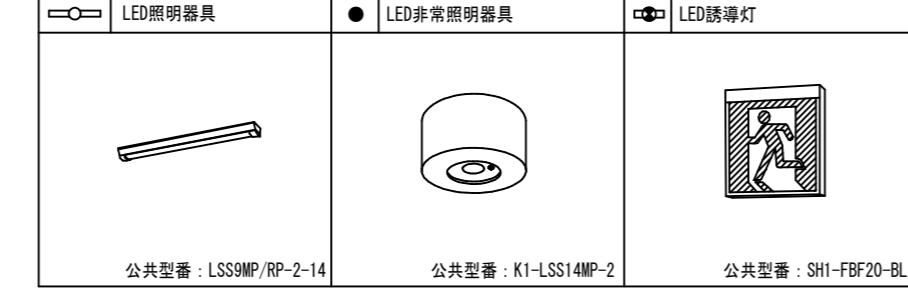


凡例

(新設)電気設備凡例	
□ MC	メタルモールA型 コーナーボックス
□ MJ	メタルモールA型 ジャンクションボックス
☒	ブルボックス 150×150×150 SUSWP
□	地中埋設機 (コンクリート製)
☆	コア抜き箇所

* 点線は既設を示す
※1 既設電灯盤L-1改造 ELCB2P50/20×1増設

照明器具姿図



津市立立成小学校消火設備改修工事		縮尺 1/300
図面名称	電気設備 1階平面図(改修後)	
津市建設部営繕課		
No. 9/10		

凡例		
-----	今回撤去箇所を示す	
-----	既存箇所を示す	
- - - II -	現状配管切断部分を示す	

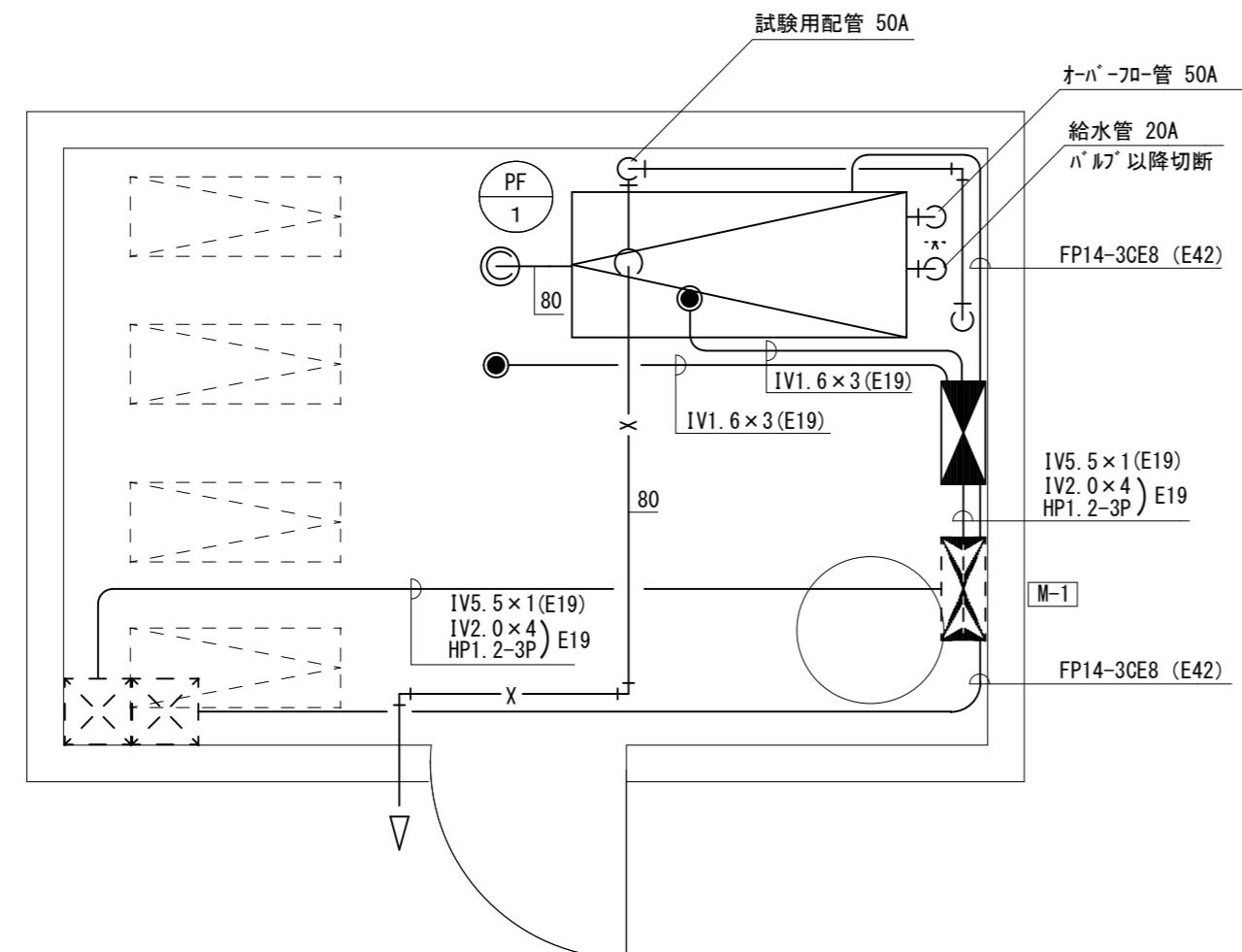
PF-1 消火ポンプ		
吸込	80	FJ80x750L, サクションカバー, フート弁80
吐出	65	FJ, CV, GV(付属品)
逃がし	50	
ドレン	20	

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。

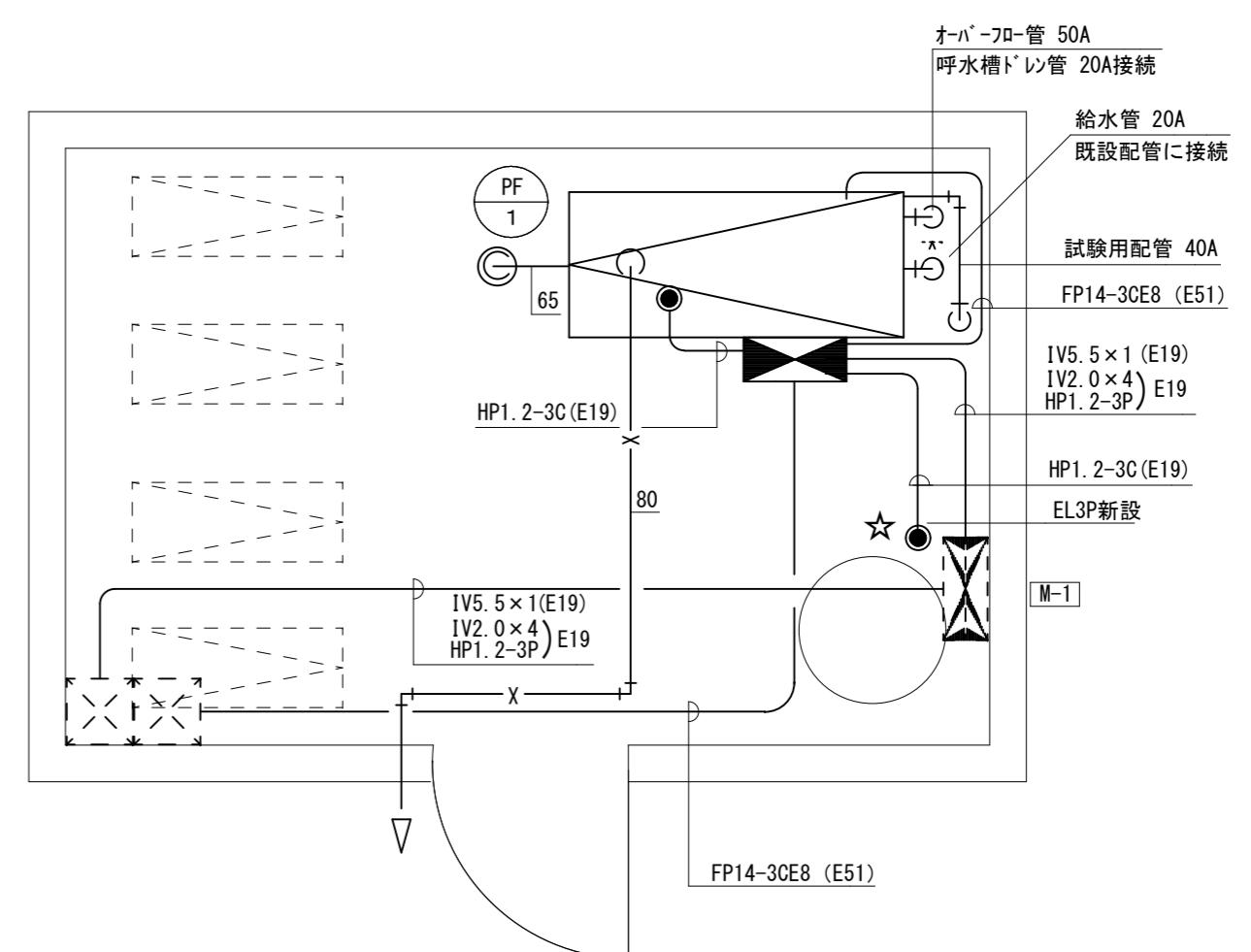
凡例		
-----	今回新設箇所を示す	
-----	既存箇所を示す	
- - - II -	現状配管・新設配管接続部分を示す	
☆	はつり箇所を示す	

注記) 配管架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

PF-1 消火ポンプ		
吸込	65	FJ65x750L, サクションカバー, フート弁65
吐出	50	FJ, CV, GV(付属品)
逃がし	20	
ドレン	20	



(改修前) ポンプ室平面詳細図 S:1/50



(改修後) ポンプ室平面詳細図 S:1/50

凡例

記号	名称	保温仕様
-----	給水管	硬質塩化ビニルライング鋼管 (VB) 機械室 : GW保温筒+アルミガラスクロ
X	消防管	SGP(白) 屋外露出 : PS保温筒+SUS鋼板 屋内露出 : 管塗装
	外面ビニル被覆钢管(サクション管, 地中埋設)	
-----	排水管	SGP(白) 屋内露出 : 管塗装
■	消火ポンプ制御盤	
●	水位制御用電極棒	
☒	ブルボックス	

※既設は点線とする

※原則、既設の貫通穴を利用すること

機器表

記号	名称	仕様及び附属品	電気容量	台数	参考型番
PF 1	消火ポンプユニット	型式 : 屋内消火栓ポンプユニット(国交省仕様・消防認定品) 能力 : 60 φ × 50 φ × 300 L/min × 53.0 m × 5.5kw 付属品 : 制御盤(起動リレー内臓・漏電警報付), 呼水槽, チャッキ弁, 仕切弁, フレキ 性能試験用配管, 圧力計, サクションユニット, フート弁、他消防認定付属品一式	3φ200v 5.5kW	1	65MEFU265.5

津市立立成小学校消火設備改修工事

縮尺
1/50

図面名称
ポンプ室 平面詳細図

原図 : A 2

津市建設部営繕課

No. 10/10